

児童発達支援自己評価表（公表）

事業所名 平戸市療育支援センターあつたかさ 2 1

保護者数（児童数） 3 1 回収率 割合 4 9 %

令和 1 年 1 2 月 実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1 5				・人数に対して広さが十分である。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	5	1	2	・以前に比べると配置数は足りない。 ・専門性には差があると思う。 ・人数・専門職不足だと思う。	・次年度より、有資格者(保育士)を補充し、療育の質の向上やご家族の支援に努めていく。専門性については、各自研鑽を積むと同時に、事業所内研修などで全体の向上を計る。 ・非常勤の各療法士が評価の実施・療育への助言を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか	1 4			1	・動き回れる部屋・勉強するへやが分かれていてよい。	・一人ひとりの遊びや動きに合わせて、興味や関心に沿った活動しやすい環境作りに努める。 ・気持ちや活動の切り替えがしやすくなる配慮や、活動に集中出来るような療育環境を整える。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動にあわせた空間となっているか	1 2	3			・季節的な物もあるが、部屋の隅に虫が死んでいたりして気になる。 ・廊下・トイレなどのほこりが気になることがある。	・掃除に加え、細かなチェックを行い、環境整備に努め、安全・清潔な場を保つよう努める。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	1 3	1		1	・作成されていると思うが、すべてを実施することは出来ていないと思う	・相談しやすい環境作りや、保護者様のご心配等に寄り添って行きたい。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び以降支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1 3			2	・親がこどもに対して抱える不安に対して、よく意見を聞いてくれたり助言をくれたりするので助かる。 ・専門的な意見をもらえるので、相談後は心が軽くなったりして、子どもだけでなく、親も助かっていると思う。	・グループや、プログラムのねらい、時間配分などを見直し、療育の内容を充実させていきたい。 ・個々に合わせた題材や工程などを取り入れるために、課題によっては部屋を分けるなどの工夫も取り入れていきたい。 ・保護者様の相談に向き合う時間を作り、職員全員で対応出来るようにしていきたい。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1 2	2		1		
	8	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか。	1 4	1				・環境をいかして、より興味や関心を持って関わりたいと思える設定を工夫していきたい。 ・変化が苦手なお子様がいることも踏まえて対応していきたい。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	3	2	3	・交流の機会がないため、わからない。	・交流の機会を作ることは難しい。日常の保育園・幼稚園・こども園での生活が、過ごし易くなるための支援を行っていく。

保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	1	4		1		・無償化など、制度等の変更・改定時に、混乱が起きないように、丁寧に対応していきたい。	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	1	4		1			
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	9	2	1	4		・S Tの時などに先生と話すことはあるが、普段のクラスの取時にも時間を取ってもらえるといい。 ・保護者交流の時間を作ったが利用者が少なく、残念だった。利用児数が増え、空き時間が無くなったことも要因ではあるが、また企画していきたい。 ・保護者様の相談に対応出来るよう、職員のスキルアップに取り組んでいきたい。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1	3	1	1		・日頃からというのは難しいのかなと思う。 ・こういう子(性格・特性)を理解してもらって、共感できる話をしてもらっていると思う。	・必要に応じ、担任の先生と電話などで情報交換を行っている。 ・スタッフ全員でお子様の特性などの理解に努め、同じ目標や課題を共有しながら支援出来るようにしていきたい。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	2	2		1	・先生が気づく成長などを見つけてくれて助言してもらっている。(モニタリング)	・相談しやすい環境作りにつとめ、事前に連絡を頂いて時間を作り、個別の相談支援を設ける。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	4	2	2			・保護者会等の発足は、負担が増えるので困るという声もあるが保護者様向けの講演会の実施や、保護者様が集まり、話せるような企画を再開させたい。 ・保護者様の相談に対応出来るよう、職員のスキルアップに取り組んでいきたい。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9	1	1	3			・相談への返答・助言などの支援が出来るよう、職員のスキルアップに努める。
	17	子どもや保護者と意志の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1	3		2			・メールでも連絡が出来るようにしたことで、時間の調整や休みの連絡など、以前より保護者様との連携がとりやすくなっている。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	3	1	1		・ホームページを作って欲しい	・法人の公式ホームページを作成済み。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	1	3		2			・個人情報は厳重に管理しているが、掲示物の名前や顔写真などの使用についても、保護者様のご意向を確認のうえで、取り扱いに注意していきたい。	

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10	1		4	<ul style="list-style-type: none"> ・会報などでやっていることはしているが、実際に参加したことはないため、わからないとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年中児を対象に、10月の療育で避難訓練を実施している。 ・3月に、職員を対象とした「怪我や事故時の対応」「通報訓練」を行うなど、防災マニュアルに沿った、職員研修を行っている。 ・防犯・感染症対応の各マニュアルについては、玄関に掲示し周知している。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1		5		<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15				<ul style="list-style-type: none"> ・いつ行くの？と楽しみにしていて、やる気がアップしたのが、とてもわかる。 ・最初は不安もあったが、楽しみながら支援を受けることが出来、自信もついてきている。 ・とても楽しみにしている。 ・親子ともに、楽しみにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様が楽しみにしてもらえるような療育、保護者様が子育てやお子様との関わりに自信を持ってもらえるような場所・時間にしていきたい。 ・楽しく遊び、しっかり運動する中で、1人ひとりが自信や自己肯定感を持って活動出来るよう、個々の課題にしっかり向き合い、丁寧な療育支援をしていきたい。
	23	事業所の支援に満足しているか	12	2			<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりに合わせて（成長）支援してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町、各関係機関とは、児童発達支援事業の重要性や当事業所の療育にご理解・ご協力を頂きながら連携を取っている。今後もより良い関係性のもと、お子様を取り巻く社会・学校・行政などと連携していきたい。

○この「事業所における自己評価結果（公表）は、事業所全体で行った自己評価です。